

政策シート

(政策名) 安全・安心で利用しやすい公共建築物の提供
(予算費目名) 公共建築費

(総合計画体系)

「分野」	地方自治・都市経営
30年後の姿	協働による持続可能な都市経営を推進し、全国をリードする自立した基礎自治体になっている。
10年後の目標	<ul style="list-style-type: none">協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されている。公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。

◆基本政策 将来像を実現する財政運営、財産管理、財源確保の推進

◇政策の概要

公共建築物の長寿命化やユニバーサルデザイン化を進め、市民が安全・安心して利用しやすい施設整備を行うとともに、適正な建物保全を推進する。また施設用途や目的に応じた適正な整備レベルの確保を図り、市民に親しまれる公共建築物を提供する。

◇関連するSDGsのゴール

①都市									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	2,020,910	1,666,422	1,629,663	1,825,455	2,004,353
決算	1,690,177	1,641,737	1,453,653	1,731,260	
人件費(A)	239,200	242,800	249,800	237,000	229,200
報酬(B)					
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,929,377	1,884,537	1,703,453	1,968,260	2,233,553

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
外壁・屋根の劣化調査の結果、優先的に改修すべきと判断された建物のうち改修済の建物の割合	%	100	目標	—	—	—	—	40
			実績	—	—	—	28	
吊り天井非構造部材落下防止工事実施割合	%	100	目標	44	44	49	56	62
			実績	44	44	49	55	
協働センターのユニバーサルデザイン化整備工事実施割合	%	100	目標	12	24	51	69	100
			実績	6	36	48	75	

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

公共建築物の長寿命化やユニバーサルデザイン化を進め、市民が安全・安心して利用しやすい施設整備を行うとともに、適正な建物保全を推進する。また施設用途や目的に応じた適正な整備レベルの確保を図り、市民に親しまれる公共建築物を提供する。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>	計画通り
○公共建築物長寿命化推進事業 外壁劣化等調査52施設、設備劣化調査72施設、大規模劣化調査55施設 空調設備等改修工事4施設、外壁改修工事26施設、屋根改修工事22施設を実施。	
○公共建築物耐震化推進事業 吊り天井等非構造部材落下防止対策工事3施設、設計5施設を実施。	
○公共建築物のユニバーサルデザイン推進事業 協働センター9施設について、身障者専用駐車場屋根、多目的トイレ、エレベーター設置等の 大規模整備を実施。また、本庁舎の一部階段に手摺、北区役所に授乳室を設置する小規模整備を実施。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	公共建築物長寿命化推進事業			○		1,469,423	1,402,623	7.2	3.0		2.0
2	公共建築物耐震化推進事業			○		373,735	365,335	1.2			
3	公共建築物ユニバーサルデザイン推進事業			○		238,395	231,815	0.9			0.1
4	公共建築運営費(一般諸経費のみ)					152,000	4,580	20.7			0.9
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						2,233,553	2,004,353	30.0	3.0		3.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 公共建築物長寿命化推進事業

◇事業目的・事業対象

建築から一定の年数が経過した公共建築物について、計画的な改修により建築物の長寿命化を進め、長期的な財政負担の軽減を図るとともに、市民に安全で安心な施設を提供するもの。

◇事業の概要

・長寿命化工事

「浜松市公共建築物長寿命化計画《一般施設》」(平成29年9月作成)に基づき公共建築物の長寿命化を図るため、計画的な改修工事を実施する。

《改修内容》

小規模改修 建築物の寿命や機能維持に大きく影響する部位の改修・更新
対象部位: 屋根、外壁、受変電設備、空調熱源設備、給水ポンプ

大規模改修 建築後40年経過する建築物を対象に劣化した機能や性能を新築時レベルまで回復させることを目的とした大規模な施設改修

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H23	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	1,277,081	1,481,601	1,132,876	1,311,765	1,402,623
	決算	1,014,493	1,422,758	943,807	1,271,064	
	国・県支出	67,041		11,283	43,985	
	市債	142,100	616,100	21,500	166,100	1,069,300
	その他		691,305	400,000		200,000
	一般財源 一般会計繰入金	805,352	115,353	511,024	1,060,979	133,323
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		61,400	59,700	59,700	61,620	66,800
人工	正規	7.0	6.5	6.5	6.5	7.2
	再任用(h31)	2.0	2.5	2.5	3.7	3.0
	再任用(h26)	2.0	2.0	2.0		
	非常勤				1.0	2.0

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.7
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

公共建築物の長寿命化を進める事業は、女性、子ども、高齢者及び障害者を含めた市民への安全で安心な施設の提供につながる。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
外壁及び屋根改修工事(施設)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	76	67	64	55	56	24	-	
実績値	64	62	58	48				
空調設備改修工事(施設)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	8	9	4	4	3	4	-	
実績値	9	9	4	4				
設備(受変電設備・給水ポンプ)改修工事(施設)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値				4	13	22	-	
実績値				4				
大規模改修工事(施設)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値				10(設計)	1	9		
実績値				9(設計)				
大規模改修工事(施設)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

・長寿命化工事[決算1,271,064千円(うち前年度繰越281,874千円)]
 浜松市公共建築物長寿命化指針及び同計画(一般施設)に基づき、既存公共建築物の小規模改修と大規模改修を計画的に進める。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・計画に基づき、屋根、外壁及び空調熱源設備等について、小規模改修のための設計、工事を行い、建築物の長寿命化が図られた。
- ・計画に基づき、大規模改修のための設計を実施した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・劣化調査の結果に基づき、事業の優先順位付けを見直した。
- ・優先順位に基づき、建築物の長寿命化のための設計、工事を行った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・長寿命化指針及び同計画(一般施設)に基づき、引き続き事業の推進を図る。

事業シート (事業名) 公共建築物耐震化推進事業

◇事業目的・事業対象

大規模空間を持つ公共建築物の吊り天井などの非構造部材について、落下防止対策を行うことにより、施設利用者の安全確保を図る。
公共施設の耐震化を行うことにより、施設利用者の安全確保を図る。

◇事業の概要

・大規模空間に吊り天井を有する市有31施設について、災害時に地域の避難所となる施設を優先的に落下防止対策工事を実施する。
・大規模改修工事を実施する施設について、一層の耐震性向上を図るため耐震補強工事を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H27	-	一般会計	自治事務(その他)		-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	598,336	25,538	305,061	245,832	365,335
	決算	592,350	24,021	298,701	199,834	
	国・県支出		9,625	72,493	53,924	112,200
	市債			110,400		
	その他	294,439				
	一般財源 一般会計繰入金	297,911	14,396	115,808	145,910	253,135
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		9,100	9,840	9,840	8,080	8,400
人工	正規	1.3	1.2	1.2	1.0	1.2
	再任用(h31)		0.4	0.4	0.3	
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.7
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

公共建築物の耐震化を進める事業は、女性、子ども、高齢者及び障害者を含めた市民への安全で安心な施設の提供につながる。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
吊り天井等非構造部材落下防止対策工事(施設)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	24	7(設計)	3	4	4	4	—	
実績値	24	7(設計)	3	3				

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
避難所指定施設の耐震化(施設)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値			2	-	-	-	—	
実績値			2	-				

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
一般施設の耐震化(施設)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値					1	1		
実績値								

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

[決算199,834千円]
 ・災害時に地域の避難所となる2施設を含む4施設について、吊り天井落下防止対策工事を行う。また、4施設について、設計を行う。
 ・大規模改修工事の実施設計に合わせ、5施設の耐震補強計画策定及び耐震補強実施設計を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・3施設について、吊り天井落下防止対策工事を実施した。なお、避難所1施設について、入札不調のため工事を繰越し施工している。
 ・5施設について、設計を完了した。(入札差金を活用し、1施設の設計を追加。)
 ・5施設について、耐震補強計画策定及び耐震補強実施設計を完了した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・吊り天井落下防止対策工事について県補助金を活用し、避難所の対策を優先して事業を実施した。
- ・大規模改修工事の実施に合わせ、一層の耐震性向上を図るため耐震補強工事を実施することとした。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・施設運営との調整を行い、避難所を優先して吊り天井等非構造部材落下防止対策を実施する。また避難所以外の施設についても、各施設の修繕計画などを踏まえ順次対策を進めていく。
- ・大規模改修工事の実施と合わせ、効果的な施設の耐震化を進めていく。

補助シート (事業名) 公共建築物耐震化推進事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
〇〇				
〇〇				

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
91	避難所となりうる協働センター附設体育館の吊り天井落下防止工事の先行実施 大規模空間に吊り天井を有する一般公共施設全施設の落下防止対策の実施	計画に基づき避難所となりうる施設の天井落下防止対策の実施	避難所となりうる施設の天井落下防止対策完了	その他公共施設の天井落下防止対策実施

事業シート (事業名) 公共建築物ユニバーサルデザイン推進事業

◇事業目的・事業対象

だれもが利用しやすくなる公共建築物を提供するため、ユニバーサルデザイン等に配慮した設計及び工事監理業務を実施し、公共建築物の適正な整備水準を確保する。

◇事業の概要

○公共建築物のユニバーサルデザイン化の推進

《対象施設》

- ・協働センター33施設

《整備内容》

- ・身障者専用駐車場屋根、廊下・階段手摺、多目的トイレ、エレベーターの整備等

○公共建築物のユニバーサルデザインに関する啓発活動

○新增築・改築・大規模改造工事等に係るユニバーサルデザインの導入

- ・施設が計画的に実施する大型工事において、ユニバーサルデザインを積極的に導入する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H20	R6	一般会計	自治事務(その他)		-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	141,947	155,599	188,501	249,077	231,815
	決算	80,266	191,782	208,933	244,588	
	国・県支出					
	市債			174,300		208,000
	その他					
	一般財源	80,266	191,782	34,633	244,588	23,815
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		10,500	11,900	11,200	10,500	6,580
人工	正規	1.3	1.5	1.4	1.3	0.9
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤	0.5	0.5	0.5	0.5	0.1

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.7
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

公共建築物のユニバーサルデザイン化を進める事業は、女性、子ども、高齢者及び障害者を含めた市民への安全で安心な施設の提供につながる。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
協働センターユニバーサルデザイン化整備工事(施設数)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	4	6	5	7	7	-	-	
実績値	2	11	4	9				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
公共建築物のユニバーサルデザイン度(点)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	55	56	59	60	60	62		
実績値	55	58	59	59				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

○公共建築物のユニバーサルデザイン化の推進[決算244,588千円]

《対象施設》

・協働センター33施設

《整備内容》

・身障者専用駐車場屋根、廊下・階段手摺、多目的トイレ、エレベーターの整備等

○公共建築物のユニバーサルデザインに関する啓発活動

○新增築・改築・大規模改造工事等に係るユニバーサルデザインの導入

・施設が計画的に実施する大型工事において、ユニバーサルデザインを積極的に導入する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・エレベータ設備を含む、規模の大きな整備を実施する施設数は計画の4施設に対して4施設の実施であった。屋根付駐車場等の小規模整備を実施する施設数は計画2に対して、入札差金を活用して5施設を実施した。ほぼ計画通りである。

・事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・令和元年度工事物件3件を平成30年度に実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・長寿命化計画による大規模改修の施工と併せて、ユニバーサルデザイン化を推進していく。

事業シート (事業名) 公共建築運営費(一般諸経費のみ)

◇事業目的・事業対象

◇事業の概要

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					—		

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	3,546	3,684	3,225	18,781	4,580
	決算	3,068	3,176	2,212	15,774	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源	3,068	3,176	2,212	15,774	4,580
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		158,200	161,360	169,060	156,800	147,420
人工	正規	22.4	22.8	23.9	22.2	20.7
	再任用(h31)		0.1	0.1		
	再任用(h26)					
	非常勤	0.5	0.5	0.5	0.5	0.9

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.7
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

公共建築物の計画・設計・施工段階での適正な品質確保は、女性、子ども、高齢者及び障害者を含めた市民への安全で安心な施設の提供につながる。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系	重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6
目標値							
実績値							

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工